

## 第 92 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 2022 年 1 月 20 日 (木) 15 : 30 ~ 16 : 30
- 場 所 : オンライン開催
- 出席者 :
  - 〔学外委員〕  
石田委員、奥委員、嶋津委員、名取委員、長谷川委員、林(康)委員、板東委員、  
藪中委員、
  - 〔学内委員〕  
田中学長、黒澤理事・副学長、道下理事・副学長、木島副学長、高田副学長、  
細江副学長、岡本大学運営局長
  - 〔オブザーバー〕 田代監事、林(礼)監事
- 欠席者 :
  - 〔学外委員〕 今井委員、林(文)委員
  - 〔学内委員〕 小島理事

### I. 審議事項

1. 国立大学法人法の一部を改正する法律の施行に伴う業務方法書の改正について  
岡本大学運営局長から、国立大学法人法の一部を改正する法律の施行に伴う業務方法書の改正について説明があり、これを了承した。
2. 第 4 期中期目標 (原案)・中期計画 (案) の提出について  
岡本大学運営局長から、第 4 期中期目標 (原案)・中期計画 (案) の提出について説明があり、これを了承した。
3. その他  
特になし。

### II. 報告事項

1. 2021 年度政策研究センター事業の採択結果について  
木島副学長から、2021 年度政策研究センター事業の採択結果について報告があった。
2. その他  
特になし。

### III. 協議事項

1. プログラムアンケートを中心とする学位プログラムの PDCA サイクルの実施について  
黒澤理事から、プログラムアンケートを中心とする学位プログラムの PDCA サイクルの実施について報告があり、協議が行われた。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○ : 学外委員、△ : 本学)

○ : 修了生に対して、アンケートを実施してはどうか。

△ : 次年度から修了生に対する調査も実施する予定でいる。修了後半年程度、終了後 3 年程度の修了生に対して実施することを検討しており、プロモーションの候補先、本学で学んだことが今どのように役に立っているのかを問う内容を予定している。また、職場の上司へもアンケートの回答を依頼したく考えている。

- ：素晴らしい提案だと思う。回答率はどの程度を見込んでいるか。教育成果として認識しづらい、言語化することが難しいこともあると思うが、それについてどのような設問設定が考えられるか。
- △：回答率は6割程度を想定しているが、回答内容への対応や設問設定を工夫し、回答率を上げていきたい。「総合的に判断して本学で学んだことに満足しているか」「本学で学んだことはどの程度役に立っているか」「職務で役に立っているか」「ほかの方にGRIPSを勧めたいか」等の包括的な設問設定をしている。

## 2. データサイエンスセンター（仮称）について

黒澤理事から、データサイエンスセンター（仮称）について報告があり、協議が行われた。

- ◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。（○：学外委員、△：本学）
- ：AI倫理についての教育・研究がプログラムに盛り込まれているか。
- △：大変貴重なご指摘である。今後教育・研究の中で触れていくようにしたい。
- ：こういった新しい事業での予算要求音もあるが、一方、老朽化対策など他にも予算を必要とするところがある。今後本学の予算規模で運営していけるか。
- △：将来の施設の維持管理等に合わせた目的積立金の積立は大体できている。学生の応募が増えてきており、かつ授業料の値上げもあることから、注意深く運営していけば問題ないと考えている。
- ：いわゆる10兆円ファンドは、本学とはどういった関連があるか。
- △：10兆円ファンド本学に予算が配分される可能性はほぼないものとする。本学との関連という面では、こういうファンドの使い方を政府に進言するという役割がある。ただ、10兆円の予算を設けたことで、運営費交付金を減額されることは危惧しており、注視していく必要がある。

## 3. その他

特になし。

以上